

急速に拡大するインバウンド需要を、誰でも、手軽に狙える新サービス
「インバウンド・サテライト」を発表
訪日外国人の位置情報に基づく効果的なプロモーション施策の実現が可能に

株式会社ワイヤ・アンド・ワイヤレス
アクセンチュア株式会社
2015年12月16日

株式会社ワイヤ・アンド・ワイヤレス(本社:東京都中央区、代表取締役社長:大塚 浩司、以下 Wi2)とアクセンチュア株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:江川 昌史、以下アクセンチュア)は、誰もが手軽に、急速に拡大するインバウンド需要を狙うことができる新しい個人向けウェブサービス「インバウンド・サテライト(Inbound Satellite)」を発表します。

インバウンド・サテライトは、Wi2 が 2014 年 12 月から提供を開始した、訪日外国人向けの無償 Wi-Fi サービス「TRAVEL JAPAN Wi-Fi」アプリを国内にて利用している訪日外国人の情報を活用したサービスです。Wi2 の Wi-Fi アクセスポイントから生成される、匿名化された訪日外国人の位置情報データと、アクセンチュアのデータ分析基盤を組み合わせることで、訪日外国人の動態や使用言語などの情報に基づく効果的なプロモーション施策を、誰でも手軽に実現することが可能になります。

2015 年 10 月までの訪日外国人の数は、すでに過去最高*1 を記録しており、インバウンドビジネスにかつてない商機が訪れています。一方で、来日する観光客の 60%以上*2 は個人旅行者であり、入国後の動きをリアルタイムかつ定量的に把握することが難しく、この大きな商機を十分に活用できる状況にありませんでした。

インバウンド・サテライトは、個人単位で ID 登録が可能なウェブサービスです。主要都市のみならず、地方都市で外国人向け商機の拡大を目指す方々も手軽にお使いいただくことが可能であり、インバウンドビジネスの商機を地方にも波及させ得る、地方創生にも資するサービスとなっています。

*1 日本政府観光局 2015 年 11 月 18 日 [報道発表資料](#)より

*2 国土交通省 観光庁「[訪日外国人の消費動向\(平成 27 年 7-9 月期 報告書\)](#)」より

Wi2 とアクセンチュアは、インバウンド・サテライトから提供されるサービスの第一弾として、訪日している外国人観光客の動態をマップ上で可視化する「インバウンド・レーダー(Inbound Radar)」の提供を本日から開始します。

◆「インバウンド・レーダー」の概要

- ・ 自社の店舗等の周辺に、「どの言語を話す外国人」が、「どのくらいの人数が滞在しているのか」について、日次で更新される位置情報に基づいて、マップ上に可視化します
- ・ 前月比、前日比や、時間帯ごとの推移なども表示可能です
- ・ 「新宿」と「お台場」など、指定する地点間の相関関係を可視化することが可能です
- ・ 1 ID 月額 1,980 円(税抜)で、すべての機能をどなたでも利用可能です
- ・ 2015 年 12 月 31 日までに登録いただいた方は、2016 年 1 月末まで無償でお使いいただけます
- ・ インバウンドレーダーの詳細、および申込は以下の URL を参照ください

<http://inbound-satellite.jp/>

「インバウンドレーダー」のサンプル画面



「インバウンド・サテライト」ロゴ



「インバウンド・レーダー」ロゴ



Wi2 とアクセンチュアは今後、ユーザーが任意に設定するエリア内に滞在している外国人観光客に対して、特売情報やクーポン、お勧め観光スポットなどのコンテンツを「TRAVEL JAPAN Wi-Fi」アプリ経由で配信して、自店舗等に誘導するサービスもインバウンド・サテライトに組み込む予定です。

【「インバウンド・サテライト」と「TRAVEL JAPAN Wi-Fi」】

「TRAVEL JAPAN Wi-Fi」とは、訪日外国人が「TRAVEL JAPAN Wi-Fi」アプリをスマートフォンやタブレットにダウンロードし、位置情報や属性情報の提供を含めた利用規約に同意することで、全国 200,000 ヶ所以上に Wi-Fi スポットを有する、Wi2 の Wi-Fi サービスに無償接続を可能にするサービスです。「TRAVEL JAPAN Wi-Fi」アプリは、配信開始からわずか 10 カ月弱の 2015 年 10 月時点において累計 100 万超のダウンロード数となっており、現在も利用ユーザー数が拡大しています。

「TRAVEL JAPAN Wi-Fi」では、主に大手企業・自治体様に向けて、訪日外国人ユーザーの位置や属性情報などが可視化された Web レポートや、アプリを経由したコンテンツ配信サービスが提供されています。本日から提供を開始する「インバウンド・サテライト」は、「TRAVEL JAPAN Wi-Fi」の簡易版サービスとして、個人単位で誰でも手軽にご利用いただけるよう開発されたサービスです。

株式会社ワイヤ・アンド・ワイヤレス 代表取締役社長の 大塚 浩司は次のように述べています。「Wi2 が昨年 12 月にサービスを開始したインバウンドビジネス活性エコシステム「TRAVEL JAPAN Wi-Fi(TJW)」は約 1 年間で世界一の観光都市と評価された京都市様や、訪日外国人観光客需要の取り込みに積極的に取り組み、業績を伸ばされているドン・キホーテ様など、多くの自治体・企業様にご参加頂き、すでにその参加数は 50 団体・企業を超えており、日々拡大しております。また、世界中で TJW アプリをダウンロードされた外国人はすでに 100 万人を超えています。TJW でご提供している機能のひとつである「動線分析レポート」は、訪日外国人の動線を定量的かつ、月ごとや施策実施前後で相対比較ができる点などで非常に高いご評価を頂いております。2020 年に向けてインバウンド市場が一層活性化していくにつれ、各団体・企業様の活動は、本部から地域、地域から各店舗へと、地域や店舗に根差したきめ細やかな施策を行うことが重要となってくると言われております。こうしたトレンドにお応えできるよう、この度、TJW の「動線分析レポート」の内容を、地域や店舗を中心に再編集した「インバウンド・サテライト」をご提供することと致しました。Wi2 は本サービスを通じて日本中の皆様により身近にインバウンドビジネスを感じていただき、地域活性にもつながるサービスの提供を目指してまいります。」

アクセンチュア アナリティクス 日本統括 マネジング・ディレクターの 工藤 卓哉は次のように述べています。「訪日外国人の匿名化された位置情報データが、アクセンチュアの卓越したアナリティクス技術とデータ分析基盤と組み合わせられることによって、今まで捕捉が難しかった訪日外国人の動きが可視化され、より効果的なプロモーション施策の実行が可能となりました。インバウンド・サテライトによって、この当社が持つ先端技術が、より多くの方々のビジネス拡大に貢献できることとなり、大変嬉しく思います。また将来的には、過去の訪日外国人の動態情報から、今後どの地域に、どの属性の外国人の滞在が見込まれるかなど、アクセンチュアが持つ先端のアナリティクス技術を活用したサービスの投入も視野に尽力してまいります」

Wi2 について

Wi2 は KDDI グループにおいて「公衆 Wi-Fi 専門事業者」に位置付けられ、企業・自治体ブランドでの Free Wi-Fi サービス提供に多くの実績を持つ通信事業者です。近年は、増加する訪日外国人向けの通信環境改善を目的とし全国最大 20 万ヶ所以上の Wi-Fi スポットへの無償自動接続機能等を提供する「TRAVEL JAPAN Wi-Fi」サービスを立ち上げるなど、インバウンド事業も行っています。

Wi2 の詳細は <http://wi2.co.jp/jp/> をご覧ください。

アクセンチュアについて

アクセンチュアは「ストラテジー」「コンサルティング」「デジタル」「テクノロジー」「オペレーションズ」の 5 つの領域で幅広いサービスとソリューションを提供する世界最大級の総合コンサルティング企業です。世界最大の規模を誇るデリバリーネットワークに裏打ちされた、40 を超す業界とあらゆる業務に対応可能な豊富な経験と専門スキルなどの強みを生かし、ビジネスとテクノロジーを融合させて、お客様のハイパフォーマンス実現と、持続可能な価値創出を支援しています。世界 120 カ国以上のお客様にサービスを提供する 35 万 8,000 人以上の社員が、イノベーションの創出と世界中の人々のより豊かな生活の実現に取り組んでいます。

アクセンチュアの詳細は www.accenture.com を、アクセンチュア株式会社の詳細は www.accenture.com/jp をご覧ください。

インバウンド施策に積極的に取り組まれている地域の方々からのコメント

■会津若松市 市長 室井 照平様

会津若松市は、地方創生総合戦略で観光客入込数の年間目標を 370 万人と設定し、本年度の地方創生予算として交付決定された「デジタル DMO」プロジェクトでは、インバウンドの拡大を目指し、台湾・中国からの観光客を主なターゲットとしたプロモーションを開始します。また、会津若松市を訪ねた外人観光客の方々へは、すでに「TRAVEL JAPAN Wi-Fi」による無償の Wi-Fi サービスを提供しております。今回、ワイヤ・アンド・ワイヤレスとアクセンチュアが提供を開始した「インバウンド・サテライト」によって、会津地域で事業を営む皆様にも、増加する外国人観光客の方々に向けたビジネス機会を拡大することができ、地方創生にも繋がるものと考えています。さらに、会津大学とアクセンチュアが中心となって進めてきた「アナリティクス人材育成」においては、会津に、実際に訪問される外国人観光客の方々の可視化された情報を題材とすることで、地域に特化した情報に基づく人材育成を推進できるものと期待しております。

■佐賀県 最高情報統括監(CIO) 森本 登志男 様

昨年度より、佐賀県ではデータサイエンスを行政の現場に生かしており、様々な分野でその有効性を実感しています。訪日外国人観光客はどの地域にとっても、たいへん大きな期待を持って受け止められていますが、その動態データを入手して分析することは、その戦略策定に非常に大きな意味を持ちます。

このたび発表された「インバウンド・サテライト」はサービス利用が安価に設定されているとのことで、これまでコスト面から手が出なかった中小規模の自治体や企業にもデータ利活用の道が開かれることを期待しています。

■稲荷繁栄会(京都府)会長 久安 康雄 様

日本の観光地として古くから伝統のある伏見稲荷大社ですが、近年国内外問わず観光客はますます増加していると感じています。特に、世界最大の口コミサイトで「外国人に人気の日本の観光スポット 2014」の 1 位に選ばれるなど、訪日外国人観光客の増加は顕著です。そんな中、伏見稲荷大社門前商店街である稲荷繁栄会では、無料 Wi-Fi スポットの設置や、それを利用した多言語での情報配信など、さまざまな施策を行っています。情報を求める訪日外国人観光客の皆さんに、もっと地域を知っていただきたい、効果的に地域の情報を届けたい、そして遊びに来て楽しんでいただきたい、それを実現するサービスとして、「インバウンド・サテライト」には、大変可能性を感じています。地域単位での施策と個人店舗単位での本サービスの活用により、相乗効果を生み出し、より魅力的な街づくりに役立てられるのではと期待しています。